

オナガサナエ



区分	宮崎県版レッドリスト: 準絶滅危惧
分布	本州・四国・九州に分布。北限は青森、南限は鹿児島・種子島。 ⁽¹⁾
生態	川の中流～下流域に発生し、成虫期5～9月。日本固有種。 ⁽¹⁾

(1) 原色日本昆虫図鑑(下)、伊藤修四郎・奥谷禎一・日浦勇、1977

タマムシ



区分	宮崎県版レッドリスト: 準絶滅危惧
分布	本州、四国、九州、佐渡、対馬、屋久島、種子島、琉球(奄美大島、徳之島、沖永良部島、沖縄本島)に分布。 ⁽¹⁾
生態	エノキ、ケヤキ、サクラ、カシ類などの枯木につくが、モミ、カキなどについての記録もある。 ⁽¹⁾

(1) 原色日本大型甲殻類図鑑(II)、三宅貞祥、1983

コムラサキ



区分	宮崎県版レッドリスト:絶滅危惧Ⅱ類
分布	北海道、本州、四国、九州に分布する。本州中部では標高 0～1,800m の所に見られるが、1,800m 以上になると少なくなる。 ⁽¹⁾
生態	最も主要な生息地は、河川に沿ったヤナギ類の林である。中流域の流路が蛇行しているような場所には、発生地が多い。火山礫原に見られるバッコヤナギなどで多数発生することもある。人為的な環境でもみられ、水田の用水路に沿って植えられたシダレヤナギや都市の公園や、街路樹として植えられているヤナギ類に発生することもある。 ⁽¹⁾
配慮事項	河川改修等の実施により、河川敷のヤナギを主体とした樹木伐採されることが多く、コムラサキは減少傾向にある。河川改修工事に際しては、自生するヤナギ類を保全するか、改変する場合も新たに植樹するように配慮が必要である。ただし、コリヤナギ、イヌコリヤナギは食樹にならない。 ⁽¹⁾

(1) 川の生物図典、財団法人 リバーフロント整備センター、1996